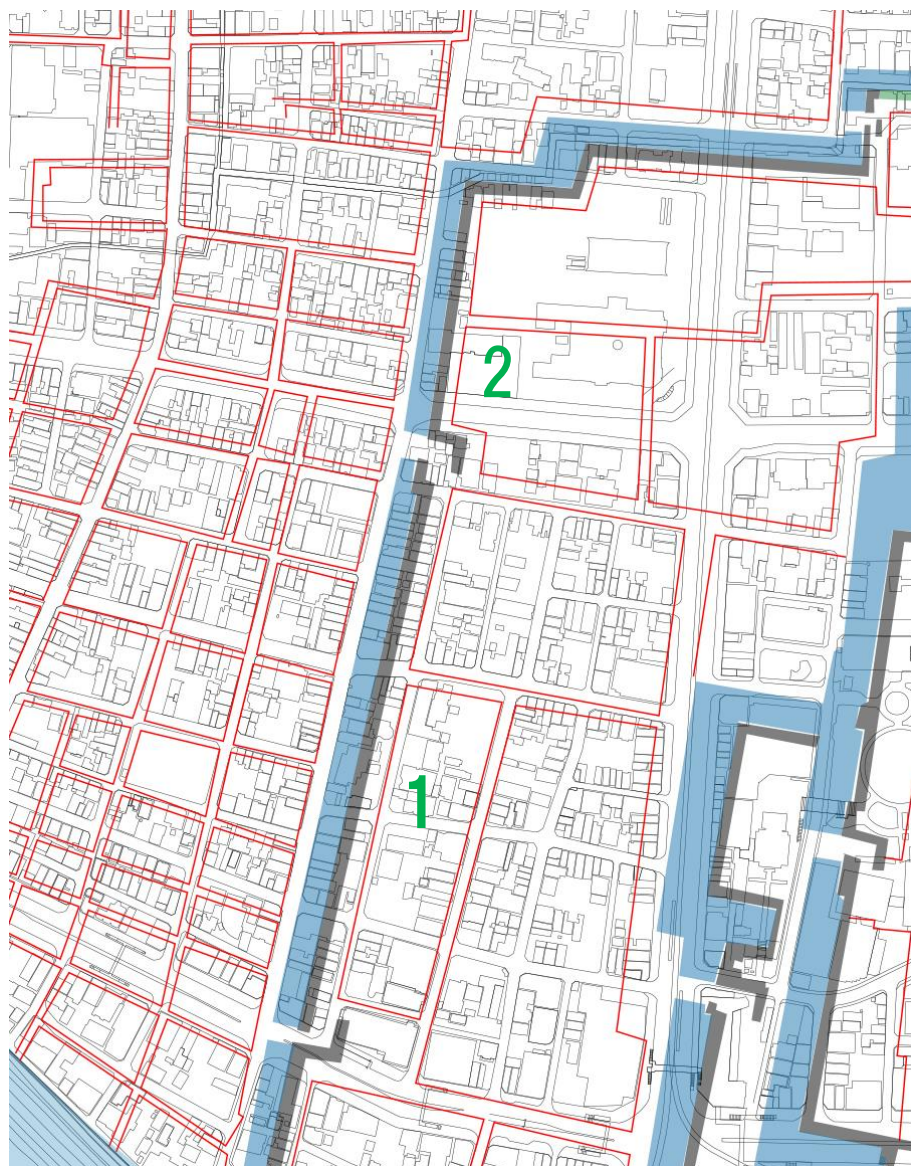


# 「寄合所」はどこに？



## 町奉行所の位置

- 1 1706年（宝永3）～36年（元文1）  
町奉行役屋敷
- 2 1736年～1865年（慶応1）  
町奉行役屋敷  
1865年～68年  
町奉行役所

福井城下の「寄合所」は、いったいどこにあったのでしょうか？  
江戸時代の中頃、1719年（享保4）には、町奉行の役屋敷前の土居際に、町組頭らが幅1間半に長さ6・7間の建物を建てたいと願い出ていました（『御家老中御用留抜集 二』享保4年9月6日条、松平文庫）。このころ町奉行の役屋敷は、桜御門北の**1**にありましたので、堀をはさんだ西側に寄合所（呼称は不明）が建てられたと考えられます。

その後、町奉行所は、柳御門北の**2**の位置に移り、幕末までこの位置にありましたが、これに対応して寄合所がどうなったかは、残念ながらわかりません。

ただ、戦前に刊行された『稿本福井市史』は、「町奉行所の構内に、町役所あり、町方の自治役場として町年寄こゝに常詰す」と記していることから、幕末には、**2**の奉行所のなかにあったと考えられます。

参考文献：『福井市史』通史編2 近世（2008年）  
吉田 健「福井藩家中絵図（山内秋郎家文書）を利用して」  
『福井県文書館研究紀要』第3号（2006年）